

インターロックにはわけがある・・・



とても理に適ったわけが！

あなたにできること

- ・インターロックや他の安全システムは、意図された使い方に通りに常に使用すること。
- ・それらは必要な時に働くように、適切に調整されていて、必要なメンテナンスを受けているかを確認すること。
- ・変更管理が完了し、承認されない限り、決してインターロックと他の安全装置を無効にしてはならない。
- ・確立されたスタートアップ手順に従うこと。もし、それらが正しくなかったなら、あなたの管理者に告げて訂正されるようにすること。
- ・検証も承認もされていない変更を**今回限り**だとして行っってはならない。

何が起こったか：

このヒーターは炉内での爆発の結果、起動中に激しく損傷したものである。その運転員は計装設備にてこずり、インターロックを回避して起動させようと決心した。これにより、パイロットバーナーが消えた状態で燃料ラインを開けることができる状態となった。ガスの元バルブが開けられ、ガスがヒーターの炉内に満たされた。そして、**ドッカーン**、そのヒーターのケーシングは破裂し、いくつかのチューブに損傷を生じた。幸いにも負傷者は出なかった。

なぜ起こったのか

オペレータはスタートアップ手順の中のいくつかの“不必要な”ことを省けば、その作業を早くすることができると思った。彼はインターロックが重要であることの判断を誤った。彼はそれらのインターロックは、・・・**今回だけは**省略できると考えたが、間違いだった。インターロックは重要である・・・**今回**であろうと、**何時であろうと！**



PSIDメンバー次の*137, *149, *317, *343の事故を確認せよ。

あらゆる安全保護装置には目的がある。それを無効にしてはいけない！